

都市観光を可能にする都市の魅力

社会研究部門 白石 真澄

1. 広がる都市観光

ある大手の旅行代理店が発表したこの夏、7、8月の旅行者数は国内8,258万人、海外323万人とされる。21世紀社会にふさわしい観光の概念として、わが国でも「都市観光」が議論されはじめた。現代文明論に詳しい木村尚三郎東京大学名誉教授は、都市観光を「知恵が求められる時代の『自分のためになる』観光」という。従来の物見遊山のものだけでなく、旅が芸術文化の鑑賞、都市の歴史を学び、新たな暮らしを創造するといった知的欲求を満たす、多様な体験へと変容しているという意味である。

2. 魅力ある都市、魅力のない都市

99年7月に設立された「都市観光を創る会」が調査した結果によると、国内外の都市の魅力(図表-1)は「街なみ、景色がいい」が最も多く、次いで「食べ物、酒がおいしい」「歴史、文化遺産がある」「地域に個性がある」の4項目で大多数を占める。また、国内外の魅力ある都市と魅力を感じない都市は図表-2の通りである。

国内の魅力ある都市の最上位は「京都」で、その理由としては「伝統文化が豊富」「歴史のある建築物とその街なみ」「わが国固有の美意識」といった意見が多かった。京都の歴史と伝統文化が大きく評価されている。次いで回答が多い「金沢」も同様の理由である。

3番目にあがった「東京」の魅力としては、「時代の先端性に触れる」、「多様な魅力」、「雑踏、先進性」などで、東京の持つ先端性、都市のエネルギー、都市のおもしろさ・混沌が評価されている。

国外で具体的にあがった都市は、いずれも欧米の歴史と文化に培われた都市が多い。

最も回答の多かったのは「パリ」で、魅力の理由としては「歴史、街並みが美しい」「数多くの美術館」といった文化や伝統への評価のほか「ショッピング、グルメなど」といったものもあげられている。次いで回答の多い「ニューヨーク」の魅力の理由としては「経済、文化の発信地」といった、世界都市としての評価とと

図表 - 1 都市の魅力

項目	件数 (件)
1. 街なみ、景色がいい	53
2. 食べ物、酒がおいしい	50
3. 歴史、文化遺産がある	43
4. 地域に個性がある	38
5. 自然環境に恵まれている	10
6. 人々の人情に触れられる	10
7. 地域に個性・クオリティがある	10
8. 公共交通の便がよい	9
9. 宿泊施設が充実している	9
10. のんびりできる	9
11. 非日常的な体験ができる	8
12. 街の情報が入手しやすい	6
13. 美術館等の文化施設がある	6
14. 温泉がある	4
15. 家族や仲間と行ける	3

(注) 16位以下は省略

もに、「ダイナミズム、刺激、情報」、「雑踏、芸術性」など、都市の持つ活気と刺激性あげられている。

一方、国内の魅力を感じない都市として、最も多かったのは「名古屋」である。理由としては、「何もない」「あまりぱっとしない」「個性がない」といった意見があがっている。次いで、回答の多かったのは「大阪」で、「汚い」「雑多な感じ」「潤いがない」といった理由が多く、都市の雑踏や活気がマイナスに働いている。

3位以下の都市の多くは高度経済成長とともに急速に発展した政令指定都市、県庁所在地で、潤いのなさや、画一性からくる個性のなさが魅力を感じない点としてあげられている。国外で魅力を感じない都市として最も多かったのは「ロサンゼルス」である。

その理由としては「下品」「無機質で人工的」「まとまりがない」といった意見が多い。2位以下に挙げられた都市と理由をみると、シンガポールの「無機質」「計画されすぎた街」といった理由や、フランクフルトの「何もない街」、バンコクやジャカルタなどアジアの都市の「不衛生」「汚い街」といったものが多くなっている。

3. 都市の魅力創造に向けて

世界観光機関の予測では、2010年の国際観光到着者数は現在の2倍の10億人と、交流人口の

増加が見込まれる。また、わが国で今後、高齢者の多数派を占める団塊世代の国内旅行など、余暇消費にも大きな期待もかかる。わが国では急ごしらえの都市づくりのなかで、多くの都市が個性と伝統美を失い、長期滞在して楽しめる都市は数少ないのではないだろうか。

今後アジアからの旅行者や高齢者の旅行需要といった潜在的マーケットを活かし、都市観光で都市を輝かせるには、解決すべき課題が山積している。都市の魅力発見とそれを活かす自治体の経営センス、公民一体となった都市セールスの強化、情報提供、住民の誇りやホスピタリティに満ち溢れ、誰もが観光を楽しめるバリアフリーの都市づくり、長期滞在を可能にするコストの低減化や周辺都市との広域連携などである。都市観光によって観光産業だけではなく、地場産業や雇用創出への波及効果も期待されている。

都市観光を実現する都市の個性や魅力について、今後、多くの地域で議論が進むことを期待したい。

(注1) 調査期間：2000年2月10日～25日、調査方法：郵送による発送・回収、調査対象者：観光関係の有識者、観光事業者、自治体職員で構成される「都市観光を創る会」の会員165名、有効回答数：95件(回収率：57.6%)、筆者也会のメンバーの一員として参加している。

図表 - 2 国内外で魅力ある都市・魅力を感じない都市

(件)

順位	魅力ある都市・訪れてみたい都市				魅力を感じない都市・二度と訪れたくない都市			
	国内		国外		国内		国外	
	都市名	回答件数	都市名	回答件数	都市名	回答件数	都市名	回答件数
1	京都	40	パリ	33	名古屋	20	ロサンゼルス	13
2	金沢	20	ニューヨーク	28	大阪	12	シンガポール	6
3	東京	16	ベネチア	17	川崎	7	フランクフルト	5
4	長崎	11	ローマ	11	千葉	6	バンコク	4
5	横浜	10	ウィーン	9	北九州	5	モスクワ	4
6	札幌	10	ロンドン	8	福島	4	ジャカルタ	3
7	函館	9	バルセロナ	6	大宮	4	ソウル	3
8	松江	9	フィレンツェ	6	広島	4	ラスベガス	3
9	福岡	9	ブラハ	6	前橋	3	香港	3
10	湯布院	7	ラスベガス	6	熱海	3	カルカッタ	2

(注) 11位以下は省略、複数回答を含む